

最初に、高知県として一体何をしようとしているかについて、少しお話をさせていただきたいと思います。県の課題はいろいろとありますが、大きく分けて3つあると思っています。1つは経済。高知県の経済は今、ものすごく大変な状況になっています。全国のいろいろな経済の状況を見ると、最下位クラスとなっています。アメリカにあるリーマンブラザーズ証券会社の経営破綻から始まって、いろいろな経済危機が一挙に押し寄せてきました。リーマンショックにより今世界中が大不況になっています。高知県も急いで緊急の経済対策をやるということで、公共事業を追加するとか雇用対策とかを実行しようとしているところです。ただ、高知県が今やろうとしている事は、他県でも同じような問題を抱えており、同じような対策を打とうとしていることです。しかし、高知県の場合にはもう1つものすごく大きな問題があります。それは、日本全体や他県で経済がどんどんよくなっていった時でも、高知県はこの10年ぐらい全然よくなることができなかった。要するに高知県は経済の体力がものすごく弱くなっています。原因は、人口がどんどん減っているということ、高齢化が進んできているということもあります。やはり人口が減少すると経済も段々元気がなくなっていくわけです。経済の規模が小さくなるのだから、外からお金を稼いでこれるぐらい、貿易や県外との取り引きでお金をもっと稼いでくることのできるような、そういう強さを持たないといけません。経済の体力をつくっていかうということで、一生懸命取り組もうとしているのが高知県産業振興計画です。

1ページを見ると「龍馬伝」のキャラクターを使用し、高知県の産業や経済をどのように元気にしていくかということを書いています。どういうことかということ、2ページの右上に書いてある「高知の強み」です。高知県には食べ物おいしい、自然と歴史が素晴らしい、すごく元気な人がいるとか、様々な強みを持っています。この強みを生かして県外の人にもアピールをし、そして県外からもお金を稼いでこれるように頑張っていこう、これを産業振興計画の中でやろうとしているわけです。そのためには、県外にもっとアピールをしていくことが必要です。お金儲けができるようになるというのはかなり大変なことで、「高知県のものです。」「買ってください。」「持っていただけでは決して売り物にはなりません。本当に売れる物にするには、消費者の皆さん方の意見を聞いて、知恵を絞って、商品を練り上げていくとか、いろいろなことが必要になります。

4ページ下左側には、高知県の経済が抱えている3つの課題を掲げています。1番目の「人口の減少により縮小を続ける県内市場頼り」これに対しては右側に改革の基本方向とし、「足下を固め、活力ある県外市場へ打って出る」と書いてあります。これを地産外商といいます。外に行き、外からもお金を稼いでこれるような経済の力強さを持っていかないとはいけません。左側2番目には「産業間の連携が弱い」と書いてあります。産業と産業の結びつきが非常に弱いのが高知県の特徴です。右側の「産業間連携の強化」、産業と産業でお互いに力を合わせて取り組みを進めていこうということです。この連携を強化することで県外にも通用する、売れる物作りをしていきます。そして最後左側に「第一次産業の強みが強みでなくなりつつある」と書いてます。例えばお茶の作り手が段々少なくなってきました。できるだけ担い手を確保していくためにはどうすればよいかという問題に真剣に取り組んでいかなければならないと思っています。

パンフレットには、今の高知県の経済の問題は何なのか、そしてそれを回復するためにど

ういうことをやろうとしているか、ということを書いていますので、ぜひ見ていただきたいと思います。